

# 防 災 係

## 1 災害対策

### (1) 訓練

- ア 福生市総合防災訓練  
日 時 平成 29 年 10 月 22 日(日)  
衆議院議員選挙と日程が重複したため中止
  
- イ 起震車体験訓練  
運用回数 23 回(平日 13 回、土・日曜日 10 回)  
運用先 自主防災組織 3 回、学校等 11 回、事業所等 9 回  
体験者数 延べ 1,705 人

### (2) 災害対策事業

- ア 防災啓発活動
  - (ア) 自主防災リーダー講習会  
講習日 平成 29 年 6 月 24 日(土) 午前 9 時 30 分～正午  
場 所 福生市扶桑会館及び福生消防署  
受講者数 49 人
  
  - (イ) ふっさ防災展  
開催日 平成 30 年 1 月 17 日(水)・18 日(木)・19 日(金)  
場 所 福生市プチギャラリー  
内 容 簡易 VR 機器によるバーチャル地震体験、身近なものを利用した防災グッズ展示、福生市防災食育センター備品展示、家具転倒防止器具、住警器等の展示、子ども用ミニ消防服試着コーナー、災害用備蓄食糧の展示及び試食  
見学者数 延べ 610 人
  
  - (ウ) 自主防災組織による災害体験学習  
実施地区 22 地区  
参加者数 618 人  
内 容 防災学習センター等における施設見学や体験訓練など
  
  - (エ) 自主防災訓練の実施  
実施地区 30 地区  
参加者数 延べ 2,449 人  
主な内容 初期消火訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練、防災資機材・軽可搬ポンプ操作訓練(点検を含む。)など

イ 各自主防災倉庫主な配備品

品名	各数量	品名	各数量
毛布	15 枚	投光機	1 台
ポリタンク	1 個	三脚（投光機用）	1 台
応急救護セット	1 セット	発電機	1 台
骨折セット	1 セット	ガソリン携行缶	1 個
救急箱	1 セット	ロープ（15m）	1 巻
担架	4 台	三角バケツ	10 個
テント	1 張	のこぎり	1 本
ヘルメット	45 個	オイルパン	2 個
ハンドマイク	2 台	メガホン （トランジスター型 1 個）	5 個
移動式炊飯器	1 台	のぼり旗	2 本
防水シート	10 枚	リヤカー （折り畳み式 2 台）	3 台
スコップ	5 本	バール	1 本
コードリール	1 巻	ラジオ付ライト	3 個
強力ライト	3 個	チェーンソー	1 台
ハンマー	3 本	災害救助工具セット	2 セット
つるはし	1 本	消火栓スタンドパイプセット	1 台
一輪車	1 台	軽可搬式消防ポンプ ※	1 台

※ 内出地区、武蔵野地区、福東地区、熊川牛浜地区、牛浜第一地区、原ヶ谷戸地区、志茂第二地区、本町第七地区、本町第八第一地区、本町第八第二地区、永田地区、長沢地区、加美地区 計 13 地区

ウ 市内備蓄倉庫主な応急対策資器材・物資備蓄品

品名	各数量	品名	各数量	品名	各数量
乾パン	4,416 食	テント	36 張	土嚢袋	1,560 枚
サバイバルフーズ	37,320 食	簡易更衣室用テント	18 張	土嚢用止め杭	1,200 本
アルファ米	45,100 食	担架	93 台	木杭	19 本
ライスクッキー	1,440 食	毛布	7,495 枚	鋼板	35 枚
保存用乾燥おかゆ	6,000 食	災害用簡易ベッド	56 台	防水シート	771 枚
クラッカー	8,680 食	折りたたみ式寝具	63 台	ロープ	400m
災害備蓄用パン	9,960 食	ゴザ	600 枚	スコップ	136 本
薄焼きビスケット	8,304 食	応急医療セット	5 セット	つるはし	100 本
はんぶん米	600 食	包帯	350 巻	掛矢	36 本
ショートブレッド	9,900 食	脱脂綿	200 包	折り込み鋸	10 本
飲料水（500ml）	8,088 本	マスク	5,520 枚	ハンマー	9 本
粉ミルク	176,000g	簡易トイレ	158 台	斧	10 本
スプーン	1,000 本	ワンタッチトイレ	20 台	ジョレン	144 本
おぼん	500 個	マンホール式トイレ	21 台	チェーンソー	10 台
おわん	3,000 個	トイレレットペーパー	2,184 巻	パイル	300 本
コップ	3,000 個	紙オムツ大人用	300 個	投光器及び三脚	26 台
哺乳ビン	570 本	紙オムツ幼児用	2,820 個	強力ライト	70 個
哺乳ビン用乳首	670 個	生理用品	3,780 個	防水ライト	50 個
ポリタンク	20 個	コンパクト肌着	1,600 枚	安全キャンドル	60 個
折畳式ウォータータンク	40 個	雨具	20 セット	補給用ろうべレット	60 個
ウォーターパッカー	2 台	鉄火鉢	46 台	発電機	26 台
メガホン	100 個	固形燃料	158 個	ガソリン携行缶	22 台
ハンドマイク	16 台	ハンドル充電式ラジオ	57 個	コードリール	20 台

エ 各避難所倉庫主な配備品内訳

品名	各数量	品名	各数量
クラッカー・薄焼きビスケット	590 食	炊き出し釜	1 台
簡易トイレ	2 台	鉄火鉢	2 台
防水シート(ブルーシート)	12 枚	固形燃料	8 個
投光機及び三脚	1 台	ポリタンク	2 個
発電機	1 台	ハンドル充電式ラジオ	1 個
ガソリン携行缶	1 個	安全キャンドル	3 個
テント	1 張	補給用ろうペレット	3 個
担架	2 台	メガホン	5 個
マスク	480 枚	のぼり旗(避難所)	1 枚
セルフケアセット	2 セット	バルーン投光機	1 台
簡易更衣室用テント	1 台	カセットガスボンベ式発電機	1 台

オ 初期消火体制整備

街頭設置消火器及び格納箱の新旧取替えを実施した。

カ 災害時対応施設(防災食育センター)の整備

福東地区に、避難所機能・備蓄機能・応急給食機能等の総合的な防災機能を併せ持つ、「災害時対応施設(防災食育センター)」を整備した。

- ・所在地 福生市大字熊川 1606 番地 1
- ・延べ面積 4,844.84 m<sup>2</sup>
- ・規模構造 鉄骨造・RC 造 地上 2 階 耐火建築物
- ・応急給食機能 災害発生後 4 日目以降最低 3 日間、市内の避難生活者約 1 万 5 千人に対し、1 人 1 日 1 回おにぎり 2 個と汁物の提供が可能。
- ・避難所機能 屋内避難スペースに約 310 名の収容が可能。
- ・防災食育センター備蓄品

品名	各数量	品名	各数量
応急給食配送用番重	210 台	災害備蓄用真空パック毛布	310 枚
エアーマット	350 個	簡易ベッド	40 台
簡易間仕切り	71 基	バルーン投光機	6 個
発電機	6 台	テント付きマンホールトイレ(一般型)	5 台
テント付きマンホールトイレ(車椅子対応型)	5 台	テント	9 台
テント用ウエイト	54 個	横幕(四方幕)	54 枚
スタンドパイプ	2 セット	鉄火鉢(固形燃料 2 缶付き)	10 台
ハンドショルダー兼用メガホン	6 台	救助工具セット	2 セット
コードリール(防雨型)	10 台	ミネラルウォーター(500ml)	2,808 本
アレルゲンフリーライス(アルファ米)	2,800 袋	携帯用燃料	40 缶
手回し充電ラジオ	5 個	みそ汁用乾燥具材	45,000 食
ランタン	10 個	電動送風機(エアテント用)	1 セット
エアテント	2 台	ストライカー	2 台
LED 照明(エアテント用)	2 セット	投光機(ソーラー型)※寄贈品	1 台

## 2 消防活動

### (1) 常備消防（福生消防署）

福生市、羽村市、瑞穂町の2市1町を管轄区域として、本署と3出張所に総員205名の署員と消防ポンプ車5台、非常用ポンプ車2台、特殊化学車1台、化学車1台、はしご車1台、救急車4台、非常用救急車1台、指揮隊車1台、査察広報車4台及び人員輸送車1台からなる陣容で消防活動、予防行政の執行等に従事している。

出場状況（管轄区域）

（単位：件）

火災	非火災	水災	救急	救助	危険排除	緊急確認	合計	前年度合計
43	29	1	7,588	281	89	45	8,076	7,921

### (2) 非常備消防（福生市消防団）

市内にある5個分団からなる消防団組織（団員176人。消防ポンプ車5台及び指揮車1台を保有）により、消防活動を実施している。

ア 消防団組織

団 長 — 副団長 (1人) (4人)	—	第一分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (8人) (13人)
		第二分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
		第三分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
		第四分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
		第五分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (18人)
本部付団員 (6人)		

イ 配置車両

分団名	車両ナンバー	車 両 の 種 類	車両購入年月日
団本部	八王子 800 さ6574	普通自動車「ワゴンタイプ」(日産)	平成15年9月
第一分団	八王子 830 さ2301	普通消防ポンプ自動車(いすゞ)	平成26年1月
第二分団	八王子 830 さ2302	普通消防ポンプ自動車(いすゞ)	平成25年1月
第三分団	八王子 830 さ2303	普通消防ポンプ自動車(いすゞ)	平成27年2月
第四分団	八王子 830 さ2304	普通消防ポンプ自動車(いすゞ)	平成24年2月
第五分団	八王子 830 さ2305	普通消防ポンプ自動車(いすゞ)	平成27年2月

ウ 年齢別団員数

（単位：人）

年齢 団員数	18～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51歳以上
176	6	27	49	46	28	14	6	0

エ 在職年数別団員数

在職年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
176	67	49	32	12	13	3	0

オ 退団・入団員数

(単位：人)

区 分	平成29年4月1日現在	退団者	入団者	階級異動	平成30年4月1日現在
本 部	5	2		2	5
本部付団員	6	1	1		6
第 一 分 団	26	3	4		27
第 二 分 団	35	2	3	△ 1	35
第 三 分 団	31	4	8		35
第 四 分 団	35	3	4	△ 1	35
第 五 分 団	35	4	2		33
合 計	173	19	22		176

カ 消防団員火災出動状況

火災発生件数(件)	出 動 回 数 (件)	延べ出動団員数(人)	平均出動団員数(人)
30	22	1,997	90.8

キ 消防団出動状況(風水害等)

延べ出動団員数(人)	出 動 回 数 (回)
267	2

ク 消防団警戒等特別出動状況

警 戒 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
祭 礼 警 戒	165	2
七 夕 警 戒	457	4
歳 末 警 戒	277	5
そ の 他 の 警 戒	156	6
合 計	1,055	17
前 年 度 合 計	1,039	20

ケ 消防団各種訓練(消防)

訓 練 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
火 災 防 御 訓 練	336	6
ポ ン プ 操 法 訓 練	5,021	79
機 関 訓 練	1,558	60
規 律 ・ 礼 式 訓 練	193	18
教 育 訓 練	1,191	64
住 民 指 導	341	20
合 計	8,640	247
前 年 度 合 計	9,786	281

コ 消防団各種訓練(災害)

訓 練 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
教 育 訓 練	0	0
住 民 指 導	0	0
合 計	0	0
前 年 度 合 計	131	1

※平成29年度は総合防災訓練の中止に伴い訓練の実施はなかった。

サ ポンプ操法審査会（第 65 回）

審査会は、消防ポンプ操法の基本を身につけ、指揮者と団員との連携を訓練し、もって団員の士気向上を図り、火災防御活動の迅速かつ確実な実施及び火災による生命・財産の損害の防止を目的に実施している。なお、平成 29 年度は手びろめによるホース延長操法を実施した。

平成 29 年度	手びろめによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第二分団	第四分団	第三分団
チーム成績	第二分団 B	第四分団 B	第三分団 B

  

前 年 度	ホースカーによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第五分団	第三分団	第四分団
チーム成績	第三分団 B	第五分団 B	第四分団 B

(3) 火災の状況

ア 区分別火災発生件数

区 分	建 物			車両 (件)	その他 (件)	合計 (件)	※ 焼失面積 (㎡)	非火災 (件)	消防団 出動回数 (回)
	全焼 (件)	半焼※ (件)	ぼや (件)						
29 年度	2	3	5	0	7	17	339(142)	13	22
前年度	2	3	6	3	2	16	202(13)	17	24

※半焼は、部分焼を含む。

※焼失面積は焼失床面積、( ) 内は天井、壁等の焼失表面積

イ 原因別火災件数

(単位：件)

原 因	放 火 (疑い含む。)	たばこ	ストーブ	ガスコンロ等	火遊び	その他	合計
前 年 度	3	1	5	0	0	7	16

(4) 消防水利施設

ア 水 利

(単位：基、箇所)

消 火 栓		合 計	防 火 水 槽			貯 水 槽		合 計	プ ール
150 mm 未満	150 mm 以上		20 m <sup>3</sup> 未満	20 m <sup>3</sup> 以上 40 m <sup>3</sup> 未満	40 m <sup>3</sup> 以上 60 m <sup>3</sup> 未満	60 m <sup>3</sup> 以上 100 m <sup>3</sup> 未満	100 m <sup>3</sup> 以上		
466	157	623	29 (0)	5 (0)	95 (88)	18 (18)	21 (21)	168 (127)	16

( ) は、耐震性防火水槽・貯水槽で内数

イ 消火栓新設、移設及び補修箇所

移設箇所 9 か所 補修箇所 4 か所